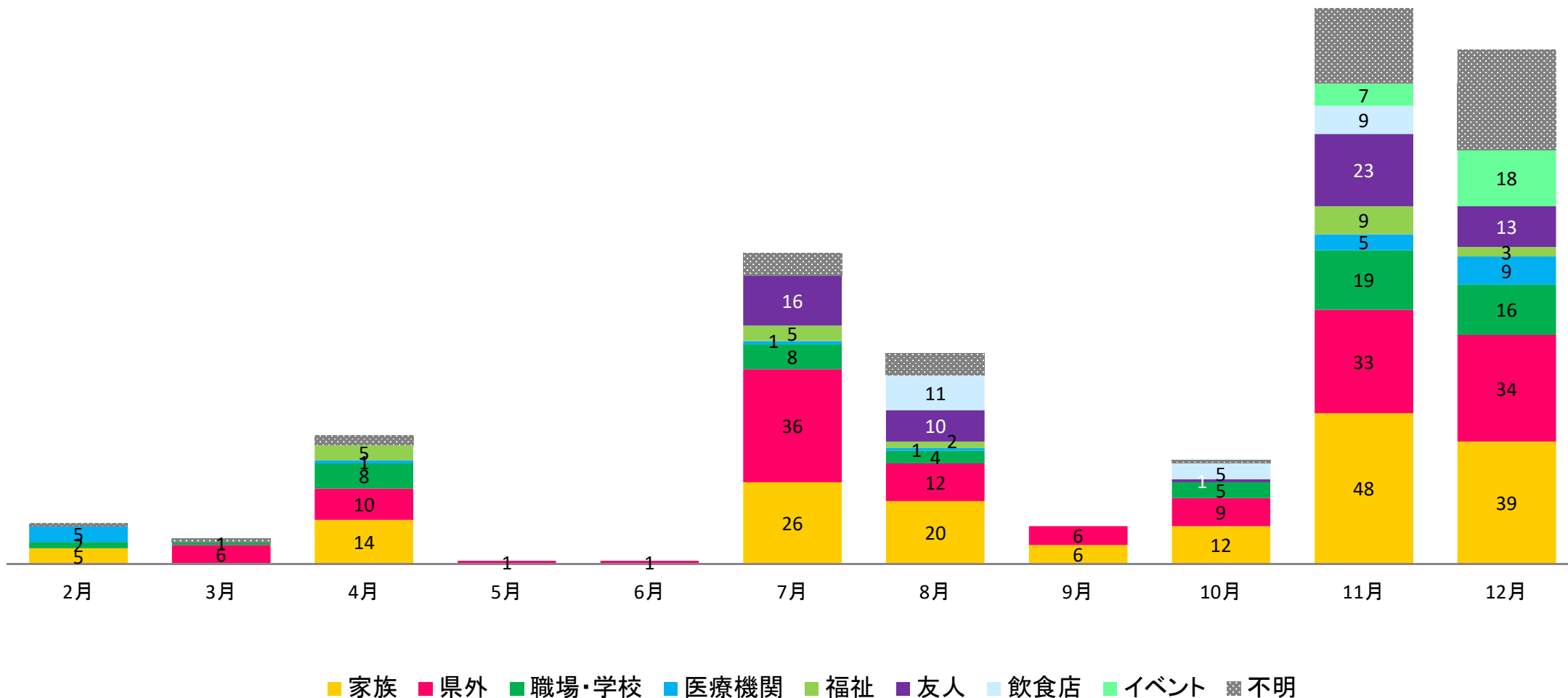


# 感染者の感染経路

(12月末現在 n = 616例)

令和3年1月5日

- 本県では、第一波の2月に院内感染で始まり、3月から県外の持ち込みが多くなり、第二波の7月は県外からの持ち込みが最多となった。
- 第三波の始まった11月以降では、家族内感染や県外からの持ち込み、友人間感染が多い。ただ、感染経路不明数が増加している。

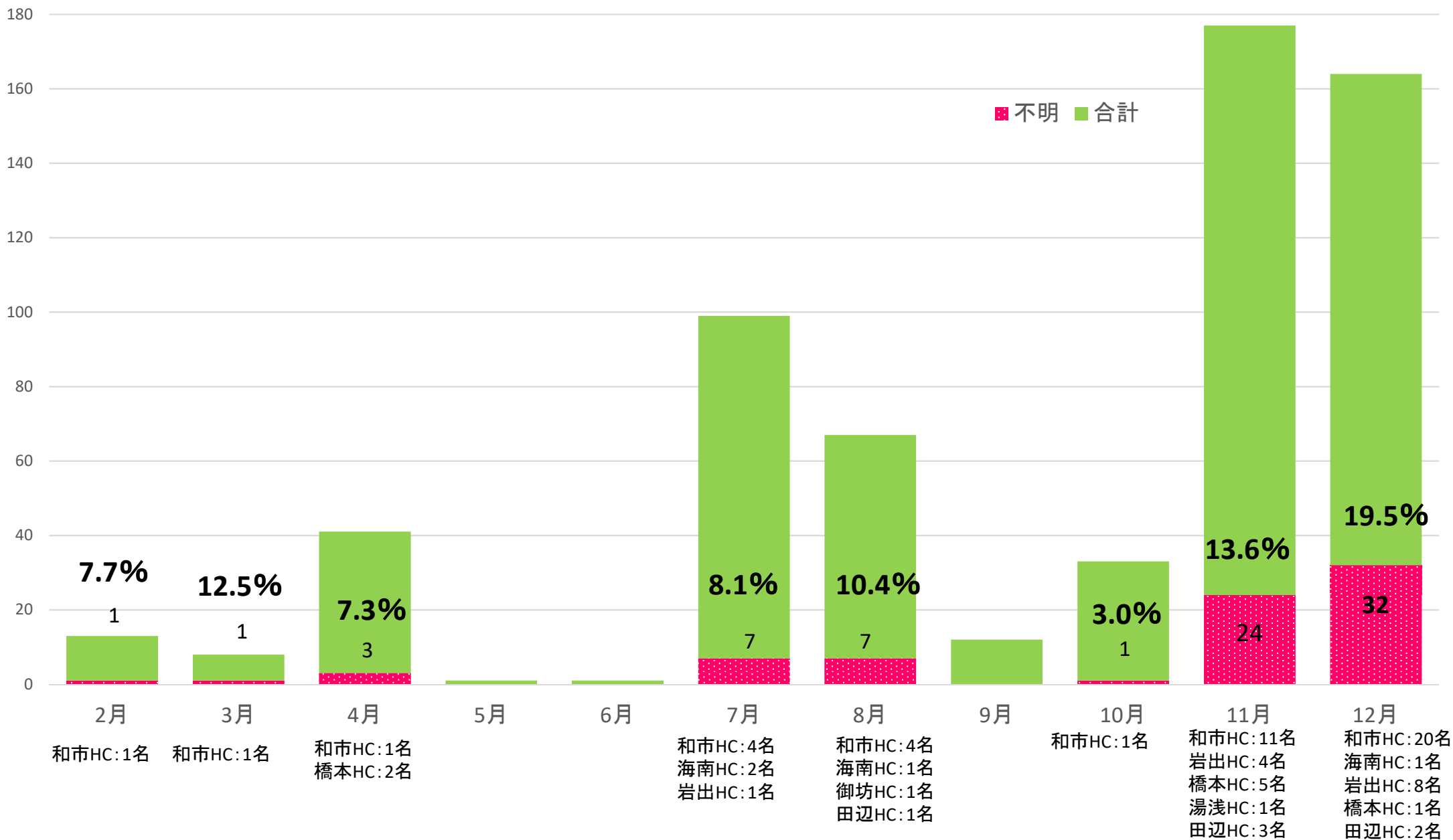


# 感染経路（原因不明の割合）

（12月末現在 n = 616例）

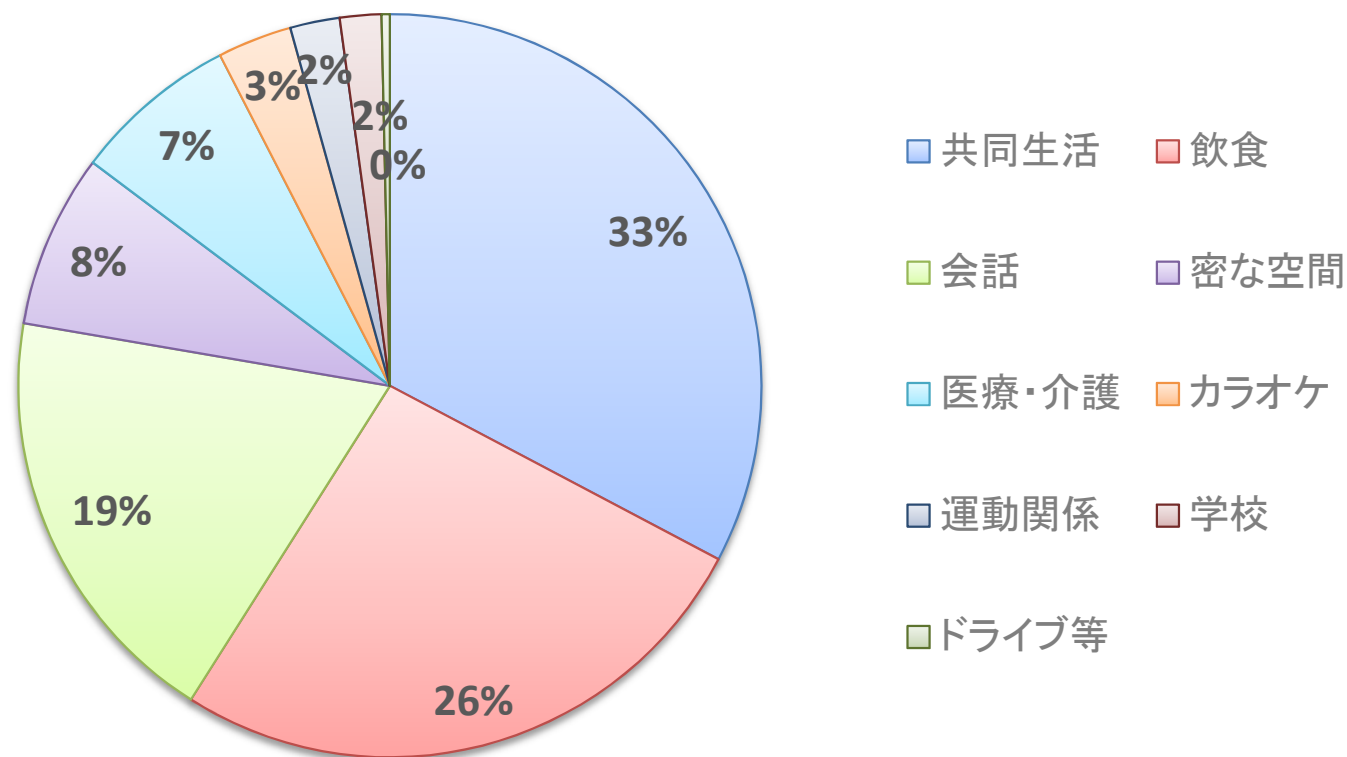
令和3年1月5日

○ 第三波の始まった11月以降は、感染経路不明の割合が高くなっている。特に、紀北地域において感染経路不明者数が増加していて留意が必要である。



# 感染者の推定される感染機会 (令和2年11月～12月末 n=278例)

- 第3波が始まった11月から12月までの県内感染者のうち感染源不明等を除いて推定される感染の機会を見た。
- 家族等と同居生活をしている場合が最も多く、次いで飲食、マスクを少なくとも一方がしていないで会話と続いていた。さらに、密な空間で長時間一緒にいた、医療・介護の行為、カラオケ、運動と続いていた。学校生活、ドライブでも感染はみられるが、少なかった。
- 従って、家族（同居）内での共有する空間・場所・物を介する感染予防と飲食時の感染予防に最も注意する必要がある。また、屋内でのマスク着用、ディスタンスの保持、換気が重要である。医療・介護行為による感染は感染者が重症化する可能性が高く感染対策を強化する必要がある。



項目	共同生活	飲食	会話	密な空間	医療・介護	カラオケ	運動	学校	ドライブ
件数	91	73	52	21	20	9	6	5	1

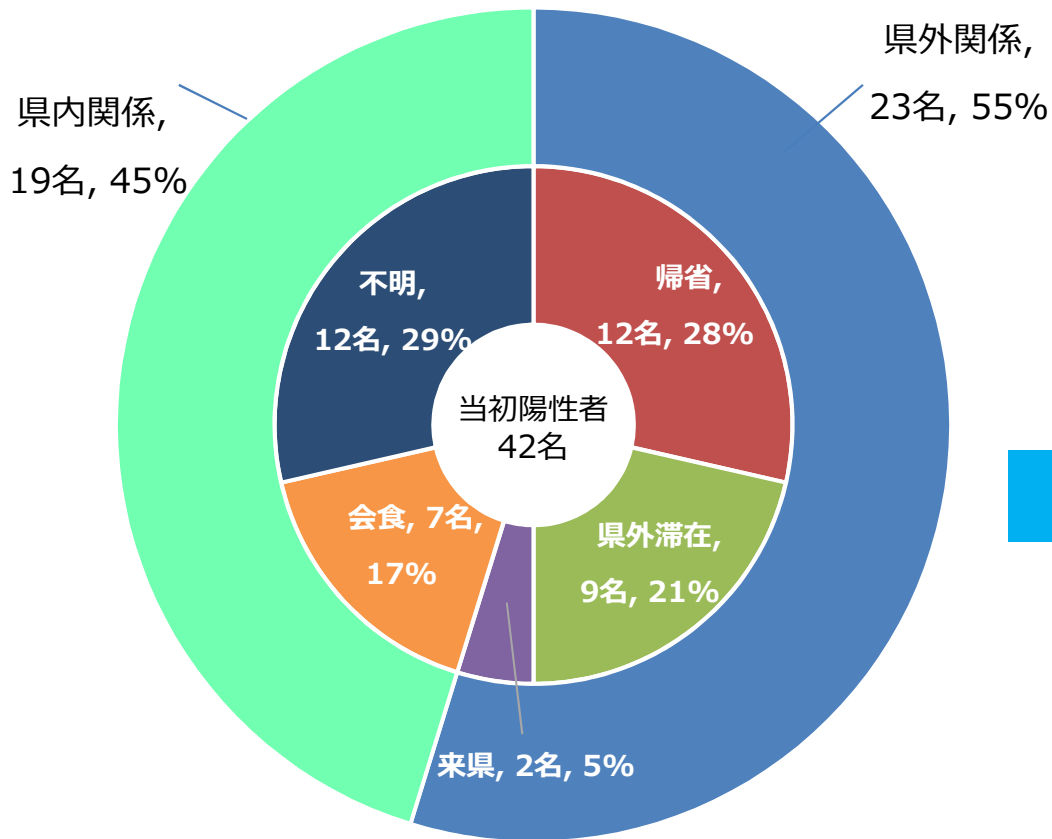
# 年末年始の感染状況

(12/26~1/4公表分)

令和3年1月5日

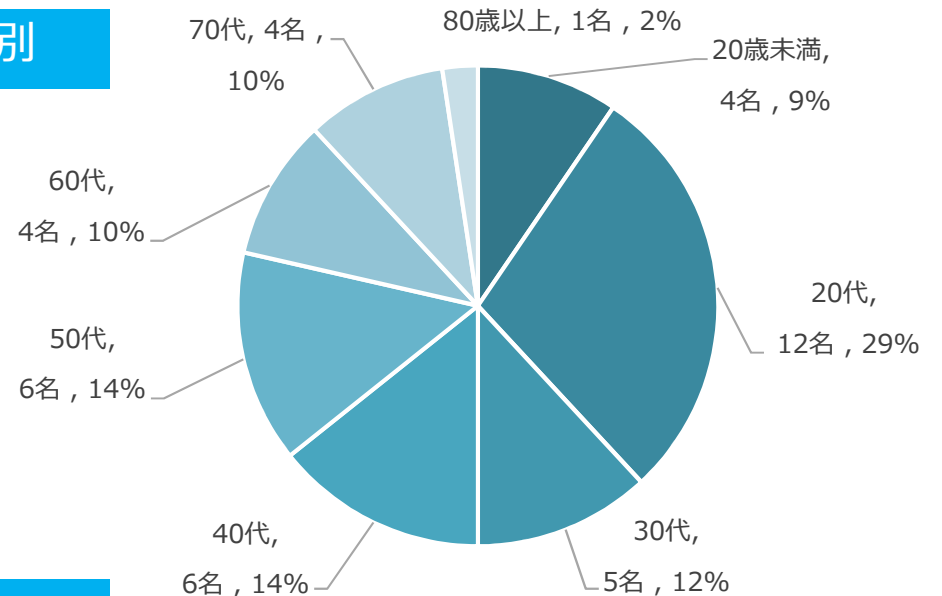
- 12/26~1/4発表分の陽性者70名のうち、濃厚接触者28名を除いた当初陽性者42名について、推定感染経路を見ると、感染が拡大している県外からの持ち込みが約6割となっている。県内では会食が原因と思われる例が約4割あるが、感染経路不明が多い状況となっている。
- 年代では、30代以下が半数となっている。保健所別では、和歌山市が約6割を占めている。

## ① 推定感染経路



【県外関係の内訳（重複を含む）】  
大阪府12名、兵庫県、愛知県各3名、神奈川県、京都府各2名、東京都、栃木、広島県各1名

## ② 年代別



## ③ 保健所別

